武德成業

十四

内閣文庫
番號 和 15251
冊數 63 (14)
函號 150 12

内閣文庫
和書
類 五二五一
號
冊 六三
函 五〇
架 四

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

武徳成業巻之十四

伯耆守加藤正脩編

家忠日記

天正八年庚辰正月小一月新正ヲ祝シ奉ラシカ為ニ諸士濱松ノ城ニ参賀ス

二日夜ニ入例ノ如ク濱松ノ城ニメ御謡初アリ松平主殿助家忠城ニ登テ着座ス

三日勝頼高天神ノ城後援トメ甲斐信濃ノ一揆ヲ催シ軍ヲ出スノ告アルニ依テ織田信忠兵ヲ卒シ清洲ニ至ル

四日横須賀ノ城警衛トメ水野監物同姓摠兵衛尉是ニ赴ク

浅草文庫

天正八年庚辰正月晦後日信上小叙せ給ふ年始ちなる例
不相替信長殿の事則
秀吉播磨に二木城を攻十七日攻落す
廿四日　神吉右衛門（淡路守）籠野
廿七日長治に還附仕付ける田別所右衛門者共逆発信長
書状遣す勝頼陣糸城也信長十八ケ国の内上杉方に宛而
仕候て右神吉籠城面目を失
天正八年信長四十七ケ年正月元日雪降る秀吉二木
城を去年より攻る城中兵粮小なる城外大将
秀吉に将城長を進攻る世り合有る終利不有引入仕
城中へ火矢を射出し毎日責落る秀長も不知〻攻る
城中に窮して元利（加藤）を乞ども不行秀吉別所
孫右衛門を城を明る〻云ふ〻め〻城中に責る尼崎
明失る尼崎（善兵衛）を孫右衛門（分中）城を小三郎長治
中迄に小出吉政丹波多野ら一揆悪滅元亨先例有侍〻
城中に三人切腹して城中に人数を可助〻長治中に形勢
〻正月十日仏書付明仕る秀吉（中略）小三郎
山城に長を進長行右三人第十六日切腹〻城中に

男女命を助あらまほしけれども
秀吉より浅野（中村橋十郎の書状を見て
悲しみ給へとも）城中へ入給ハ法士と集めて酒宴をして
小三郎法士に一礼して今迄苦労を礼謝し無間
山城守に暇乞して切腹せんとハ名を惜み切死
せんとする所城中に者共大小腰をそろへ山城守をそろへ
首を切十六日申に別妻子を報し先申切後家老
三宅肥前入道介錯ス　辞世歌部合之首
今はたゝうらみもなしや彦に間の命にうるに家身と思へハ

長治

法とも小果る身仕を始しなれ先立ぬ別る世よ
命とも惜またりなり捨う未に代まくも名を思ふ身を

長治妻　友行

たに先立し後の代を小翁を主君に別れ

友行妻

後に世の道も迷ハし思ひるを捨て出ぬる行末に

山城守妻

君なくハう絶身に命なふ世ん

三宅治忠

秀吉帰陣に入給ふ城中に男女法士不残出城す但馬殿
矢作法士不残秀吉に旅ひに酒乃召て白子重盛
和尚を憐む白子重盛ハ信雄信孝の奇に師範と重盛
兼ねて秀吉に風を仰ぐ見て義ふ行秀吉に

行と同日なる言伝ふ

播磨にて三木赤松を切崩さんとて大水となる

扨て二月なり

武林叢話

播州三木城を秀吉公攻め給ひ別所小三郎

長治家人中村孫三郎忠澄と言者有秀吉公より公大賜

御好も度々すすめられる中村御辭りゝ被成て更領

娘を人質に出し一夜且取付別述宮め秀吉公に注人数

を余り城中へ引込ませ引包みを人を忍ばせ果

中に秀吉公に注進後に大形彼娘に人質なりしを強に

とけ給ひ三木城に中村孫三郎を行給へいろ〳〵

注進丹波國後詰に奥より捕出し秀吉公に出ス

三木へ我とたゞかり寄竟に軍を余計に所を

より割くもいく事如火強引ゆとし思ひ仕

と若別所ゆ為ゆ宮に娘を捨て忠節成さる事

なれを其志知る忠長なり仕へ旧恩に免し中村孫三郎

一氏与力に附給へ〳〵知行三千石に秀吉公に

出義許城に雖有事形り

續閑談

播州三木に別所家に三年籠城に行ひ毎の

軍に完上仕武功ありし山田八郎兵衛由井久次郎兵衛
大九郎と申すものの久次郎と首八ツ九大九郎八十一九名九
世上首取大九郎と申八右衛門と三年の間一度も引さり
ければよりて其御所様に出るに二人より申郎と奥
源氏勇士なり世上に名を名大臣戦死
の時と八右衛門大功なりしと後英流合戦に果り歳
武蔵守に仕へ長久年松今浜と一番槍と合せ
佐竹次郎慶守家に勤仕せり由井久次郎を関ヶ原軍
前大津城攻の時京極家に仕へ忠功旦拒寺仕

法と忠次に仕へ指南と後播州池田家に属す井と
大九郎を大和大納言又加藤清正に仕へ名を初山田
るに忠勇を以て名を残

武家聞談

名護屋左兵衛と云秀吉家人仕るり山三郎として
文双の英少年なりしと蒲生氏郷初知入仕出死
左兵衛に世に名連に沈沢一揆に付十三歳に
て名を挙て東に八先祖を振袖に名付
云名を挙て東に八先祖を振袖に名付
云く秀次に仕出世一日破万仕と山三郎天下に
英色之氏郷没後浪人に伏見に父富蔵守に成

奉公をかせられし山左衛門と改め度旨道奉者を始め風流
狂言を弱生雲様お國と云女を刻み欲奉成と云るを
ふしらく浪殿様右筆小野お通小侍〻浄瑠理とりふを
始め人形を拵ゆるもしむ牛若十二段と云事お通の能小
〻先を操様なりし所小山左衛門妹婿吳能を太政小
家せ〻き山左衛門をも抱こゝを若気の二條御城法
華宗時太政様の仰を勤しら京に火事ゆり家老并戸
宇右衛門と山左衛門様も松茸狩小侍様〻行しら用意て
御通ゆ〻山左衛門ゆりの小詩をとゝき英雄作の風俗を

ゆるしく宇右衛門悪にす後〻太政〻宇右衛門と語し
〻後年津山城を忠政築る所附書院場ゆ〻宇右衛門を
太政目迎ゆ〻山左衛門ゆ行ゆる返り申小ゆ〻大死に
之時大力様云ゆ右馬助も宇右衛門を切るゆ後年迄
されを太政も長刀とれ〻応ゆ能小宇右衛門を人命
なの先〻かまを見御小侍少を切ち〻〻逃すゆ小
ゆ〻お果ゆ云ゆ右馬助と右衛門能見と迄て
中川左平左門ゆ大小様又を太先さん中〻
罪人を裁断する事〻をいのゆり

[illegible]頼寺[illegible]門跡救[illegible]取合不果無時
[illegible]喜ヶ[illegible]勅使[illegible]結長[illegible]城ヲ[illegible]渡[illegible]西[illegible]て南
門跡[illegible]結[illegible]て[illegible]追[illegible]冥[illegible]堺[illegible]ホクハシシキヤウ院ハ
門跡[illegible]迫[illegible]一[illegible]本願寺[illegible]無[illegible]結長止宿也

家忠日記

二月大十日　大神君駿州表ニ御進発ノ由酒井忠次ヨ
リ家忠ニ告ル
三月小十三日来ル十六日高天神取出ノタメ家忠士卒ヲ携
ヱ濱松ニ参陣スヘキノ旨鈞命有ルノ由酒井忠次吉田ノ城
ヨリ深溝ニ告ル

勝頼浮島原（出馬小際ニ浮）（出馬小際ハツムスノ浦）松
枚渡[illegible]出[illegible]武田方今川ヒルヲ後ノ[illegible]ヒル後今川の
[illegible]大将[illegible]小田列（附後ヶ松軍ヲ向井忠庫
大将[illegible]田列[illegible]松[illegible]出ル八[illegible]小際大松軍
[illegible]（田列[illegible]絶[illegible]合引

武徳大成

三月十六日　神君濱松ヲ發シテ高天神ニ赴ク是日高
天神ノ城兵出テ天王馬場ニ屯ス大須賀康高中村砦ヨリ出
テ是ヲ撃ツ康高カ部下久世三四郎坂部三十郎氏家金次郎
近藤武助菅沼長藏鷲山傳八郎鎗ヲ接テ健闘ス本多忠勝カ

家士内山忠三郎日置小左衛門等争ヒ進テ力戦シテ城柵ヲ
攻敗ル
柏崎物語
十六日高天神ヨリ合坂郷ニ于而首二ツ入れ大久保御陣ヲ御出馬
城攻ヲ夫坂出ヲ中村の間ニ無御付
家忠日記
十八日高天神ノ城ヲ攻給ハレカ為砦ヲ大坂ニ築キ玉フ命
ヲ奉テ家忠大坂ニ番ス
廿日大坂ノ砦ヲ修ス
廿五日大坂ノ砦修築未タ成ラス又命メ中村砦ノ要害ヲ築
カシメ玉フ

廿八日中村取出ノ要害成ル
廿九日大坂中村両城ノ間ニ取出ノ要害ヲ築カシメ玉フ
柏崎物語
此節信長馬屋出ル怪変信長大怪ノ儀ニ
信長馬屋ニ新ク
[illegible]
信長[illegible]ハ唐天竺日本ノ[illegible]
[illegible]
[illegible]
大小此[illegible]信長小平生ハ悪行女を犯

事と云て後ち信長怒て又引出し首を切て
終に不法をとゝ此ハ正世の僧侶より寺建立
仕為ル宿願と申し沢山なる故ニ多分小物ゝ
ニ成り如事ハ不付紀有建立仕為ル宿願ニ
ニ成ハホゾ合せて云行婦往ると云て婦人を犯ると
天正八二月信ニ成ル出る世間を騒す事流行
富士行者と云て多く有て様様事巧や行て信長を
たらかし成て首を切る
世に小原氏政公後世 図 を送る氏政公を祓禊仕
度と不送ら
大坂本願寺門徒を元亀元年より天正七八年ニ合
ハり世度和談を
禁裏より仰ハ
カウサケヨ聖人私ニ紀別サイカ
引出の事件キョウヨハ法事行分可引掛ら中上諸代地
家来打捨て大坂より長沼の五十一ヶ所に居寺之班ル
信長不安様ニ成て下ると近藤某久ニ屋田中内云
勅使ハ掛海ニ出ル有国衆と相云問孔雀ハ
本願寺家老下間 図
信孔雀ハ下ル

同二月八日濱松ヘ参入

九日ニ別陳小國路ヘ

廿七日信頼生ル杉宗城ヲ高ヶ取ヲ上方ヘ

本願寺カウサ光ヲ迎ヒ扱ヲ

十八日牧野城西郷孫九郎ヲ松平ヲ殿代ル同掛川ヲ

御動座

家忠日記

晦日來月五日　大神君駿州表ニ御動座　白三州ノ諸

將ニ觸催サル

四月小十六日家忠牧野ノ城警衛ノタメ今日濱松ニ參着ス

廿七日三州ノ軍勢等池田ノ驛ニ陣ス

柏崎物語

信長武威強ケレトモ信玄同月播州ヒソウ氷ヶ廣瀬

氷攻ヲセラレ信秀公ヲ氷攻ヲ為ル事実説

の内ヨリ氷攻ヲ見ヲ為ル秀公ヲ為ル

工夫ヲ上ル宇野下野ヲ

攻ル陣中ヲ見ヲ下テウハ来ル

ヲ取リ移ル首尾ヨ敵カ

只日小攻破城中二百又六十計ヲ殺ス

秀吉是小可居ヲ云小寺发ヲ信必ヲ出

[illegible]

[illegible]秀吉後世事上ッヽキ不下小一郎秀長但馬大田垣
[illegible]城之世[illegible]小入加賀能登田腐家へ
[illegible]時役馬之[illegible]使者ホ下助左衛門尉人軍[illegible]之故
思召

續閑談

樂田勝家信長公[illegible]和小出[illegible]年[illegible]姉[illegible]合戦
[illegible]老後[illegible]思ひ出小仕度旨言上[illegible]信長[illegible]斜[illegible]自
[illegible]

[illegible]名深[illegible]姉[illegible]人小吸せん事[illegible]思ふ

[illegible]彼全を[illegible]家小[illegible]

武德大成

五月朔日　神君濱松ヲ發シテ兵ヲ駿州ニ出シ玉フ

家忠日記

二日　大神君ノ兵牧野ニ陣ス

武德大成

三日田中ニ至ル明ル日遠目（遠州之地之名）ニ至テ八幡山ニ陣シテ花澤ノ苗ヲ藉ル復明日輕卒ヲ出シテ田中ノ麥ヲ取テ兵ヲ收テ歸ル石川數正殿タリ持舟ノ城兵遠目坂ニ馳下リテ是ヲ躡タリ數正兵ヲ返シテ城兵ノ悉ク出ルヲ待テ打シト欲ス酒井重忠松平康親牧野康成平岩親吉内藤宗長鈴木小原等返馳テ競ヒ進ム松平左近真乘モ馳付テ相共ニ奮ヒ討テ

敵ヲ坂上ニ追上テ大ニ是ヲ敗ル須田文平城兵井兵庫ヲ斬
ル天野小麥右衛門重次朝比奈市兵衛ヲ獲タリ安藤治右衛
門正次矢部彌三郎ヲ打大田善太夫吉正朝比奈小隼人ヲ組
打ス（時ニ正吉十八歳）長谷川九郎左衛門石原五郎作天野角右衛門
菴原傳内等城内ノ勇士三十二人（或曰八十余人）戰死ス
（家忠日記）
其中ニ三浦兵部少輔ハ松平周防守康親カ臣岡田竹右衛門
元次是ヲ討捕ル然ル二一色某　大神君ノ御勘氣ヲ蒙
リテ周防守康親カ許ニ蟄居メ此陣ニ在リ竹右衛門尉元次
三浦兵部少輔カ首ヲ一色ニ讓リ與ヘテ其戰功ヲ以一色

大神君ノ御赦免ヲ蒙シ支ヲ請フ　大神君元次カ軍功
ヲ一色ニ讓ルヿヲ推シ王ヒ着シ王フ御鎧（緋威）ノ片袖ヲ以テ
元次ニ賜フ矢部孫三郎ハ安藤治右衛門尉正次是ヲ討テ首
ヲ得タリ　大神君其戰功ヲ褒セラレ永樂二十貫文ヲ
正次ニ賜フ
（柏寄物語）
文月百小島信雄三七信孝丹羽氏勝柴田修理亮勝家
[illegible]
五月八日同月十七日又ハ同月廿六日石信秋ハ備前
[illegible]
[illegible]

六月廿六日野武郎ヲ簡ミ城ヲ攻ル（後ヲ略ス）
国侍長曽我部右馬助ヲ進ス十四度ヲヲキ左馬
ヲ秋勘左衛門大野治部左門ヲ出セリ合戦
十日横須賀　神君御動座同十一日高天神ヲ攻
見ヲ以成敗仕ル右馬ヲ六ヶ所ヲ以ヲ攻
畢ヲ以左ヲ人ヲ雑賀法師今ヲ人ヲ攻ル
ヲ以ヲ中ヲ義成被ヲ成ヲ小田原ヲ通リ
ヲ方ヲ簡ミ中ヲ攻ヲ日ヲ以ヲ右馬ヲ宮好ヲ
上ヲ則ヲ攻ル同十日星月ヲ攻ル同十七日ヲ天神
ヲ焼働ヲ攻ル同十八日ヲ天神ヲ刈田ヲ攻ル小田原
勝ヲ成信長ヲ上ヲ攻ヲ帰ヲ合有　神君御人数備
来七月ヲ川ヲ渡ル

武徳大成

七月廿日兵ヲ懸川ニ出シ進シテ伊呂崎ニ陣シテ酒井忠次
石川數正本多忠勝等カ前隊ノ士ヲシテ役徒ヲ護リテ大井
川ヲ渉テ田中ノ稲ヲ穫シム

家忠日記

廿二日御味方ノ諸卒小山ニ進テ相戦ヒ敵ヲ少々討捕リ家
忠カ従士能ク戦テ疵ヲ被ル者二人
廿三日酒井左衛門尉忠次先日ヨリ田中ノ城ヲ囲ム石川伯

者守數正忠次二代テ田中ノ城辺ニ陣ス是ニ依テ忠次吉田ノ城ニ皈ル

廿四日小山表苅田ノ拒キトメ指置本多平八郎忠勝従卒三騎敵ト戦テ死ス

廿五日　大神君ノ命ヲ奉テ家忠小山表ニ兵ヲ発ス

廿六日　大神君軍ヲ掛川ニ収メ玉フ諸将モ懸川ノ驛ニ皈リ集ル

武徳大成

廿七日兵ヲ収テ濱松ニ皈リ給フ

一説曰時ニ　神君大井川ヲ渉テ田中八幡山ニ陣シ給テ諸将ヲシテ役徒ヲ率ヒテ稲ヲ穫シム松平康親カ家士岡田元次申上ク大井川ノ水ハ一夜ニ暴漲ル且亦勝頼ハ好シテ不意ニ軍ヲ出ス苅田略終リテ早ク川ヲ渉ラセ給フ上策タラシト　神君然リトシテ即チ河ヲ渉ラセ給フ其夜果シテ雨降テ河水大ニ漲ル勝頼遁駿州ニ出テ管内ノ諸将ヲ巡視シ我軍ノ出ルト聞テ急ニ馳テ田中ニ至ル河水渉ルヘカラスシテ止ヌ　神君元次カ軍機ヲ察ル支ヲ褒シ給フ

柏崎物語

廿七日渡ル　市入又社人ノ神社城ノ〈多移小移ノ〉

うつ[illegible]ハ[illegible]牧[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武徳大成

八月北條氏政兵ヲ豆州ニ出ス勝頼モ又駿州ニ出テ黄瀬川

二對陣ス

一説ニ勝頼氏政對陣ニ依テ　神君駿州ニ入テ由井

倉沢ニ至ラセ給フハ此時ニアリト云

家忠日記

十六日北條氏政カ使小笠原濱松ニ來テ武田勝頼ト對陣ノ

支ヲ　大神君ニ告ル

柏崎物語

小條ノ尚十六日使者ヲ以テ上ル勝頼ニ世川ハ対

陣ヲ為ス合ヲ申ス尚小條大軍ヲ以ル拒ハ信ハ

安房伊豆ヲ林紀淡ヲ抑ヘ後動尚共七日野見ヲ松平

次郎左衛門重能八十三病死ヲ以テ拒ル

次郎右衛門娘小法師男子生ル松平二代目ノ防ヲ松井左近
ヲ下
九月廿三日水野藤兵衛忠重刈屋小川城ヲ下野ノ弟之
下野死後右兵衛久間兵衛死後右兵衛
兵衛久間兵衛尚ホ水野日向ノ家信長ノ臣タリ
家忠日記
是ヨリ先忠重カ兄下野守信元苅屋ノ城主タリ天正三年信
長ノ爲ニ生害ス
武徳大成
遠州馬伏塚ノ城及鎌田ノ郷ヲ以テ高力清長与左衛門後ニ河内守ニ任ス ニ賜フ
落穂集
同年九月松平家忠牧野廣忠小ヤ村ノ四字ノ城ヲ攻ム
城ヲ向井三浦等戰死ス
武徳大成
同年十月十二日 神君復濱松ヲ發シテ高天神ニ趣キ
玉フ十九日三州ノ諸將大坂横須賀ニ至ル廿日諸將ニ命シ
テ役徒ヲ山中ニ遣シ柵ノ木ヲ伐ラシメ廿二日諸軍進シテ
高天神ノ城ニ逼ル砦ヲ須賀林谷鹿ケ臺中村小笠原等ノ所
々ニ築テ四面ニ周リ圍ンテ濠ヲ鑿リ柵ヲ引テ軍士ヲシテ
一歩ニ一人是ヲ守テ城兵ヲシテ出テ戰フコトヲ得サラシ
ム旦諸將ノ兵ヲシテ嚴シク六砦ヲ守ラシム
柏崎物語
十月高天神ヲ攻ム後松平伊豆守十九日小平左馬助

長右衛門ニ手伝仕候大将ニ責出ス百姓ハ百姓ニ
ニ手ハ無之攻る城中ニ必死ニ成傷痍ハ加藤ニ取り防
戦す宜敷ハ長谷川ハ攻る城ハ堀ニ入ると加藤ハ
一方ニ取ル〻ハ引ニ取ル〻ハ隨ふ〻ひ〻紀伊守ハ
大坂ニ方福寺山ニ在陣原小平太ハ攻る城中ハ浜地ハ小平太
小勢〻〻ハ〻〻ハ〻〻ハ伊東一助ハ水野九郎ニ在す
新平八ハ鉄砲ニ連ニ城中ハ浜地ニ近ヒ子今西橋
小口近ハ力ハ攻る水野国松ハ西ニ清ハ先〻〻ハ
二ハ九三の曲輪ハ力ハ破り国松初陣なり清水治郎ハ
一ハ討死仕候人数ハ八百ハ人ハ責大炊助ハ的場
曲輪近責入小栗又一ハ討ハ在二郎一番塗一番ニ在ハ
又一ハ落ハ十月廿二日ハ事〻ハ九郎小黒輪ハ附城中ハ
加藤ハ長谷川ハ〻〻ハ〻〻ハ働ハ〻〻ハ
伊東長助ハ小平太ハ取無成ニ在す　神君
貴ハ遊侍小ハ伊丹大炊助ハ長谷川ハ東九郎ハ十郎ニ在
一助ハ手濱討ハ入ハ打ハ〻ハ如ハ本ハ九郎ハ人ハ
長助ハ在ハ城ハ二百ハ手ハ先城攻ハ
武徳大成
廿八日　神君馬伏塚ニ移リ給フ

十一月十二日浜海道松平右京亮殿ヲ信長ハ天神ヲ攻
給ふ検使として佐久間右衛門尉信長ヲ浮田備前守秀家
兼田ハ加賀ヲ攻給ふ能登一國ヲ平均ハ前田又左衛門
殿ハ信長ハ検使として佐久間信長ハ検使ヲ
この度ハ攻ハ城中ハ十二月晦日石川
紀伊陣ハ引やまちの兼田ハ出ル前来城中ハ
対く出ル安養寺右衛門ハ捕ハ出ル追出ル二百
信長より長谷川宗仁ハ捕ハ佐久間右衛門
秀勝西尾小左衛門尉 後隠岐守 福富平左衛門 宗次 佐子弥助 一云

右ハ人ハ国道ハ攻給ふ陣中ハ御餐ハ
浦松ハ城門ハ出る日並ハ松ハ向井伊賀ハ浮ハ庫
ハ宗仁城ハ行ハ小陣ハ取合ハ有ハ笹川山城ハ中城ハ
浦進ハ城ハ出給ふ 神保長住ハ城ハ川
一右衛門ハ長谷川一郎也 ハ一右衛門ハ下野長沼笹川ハ
ハ長ハ余ハ別際

家忠日記

天正九年辛巳正月一日諸士濱松ニ参候シテ城ニ登テ
大神君ニ謁シ新正ノ賀儀ヲ献ス
二日夜ニ入濱松ノ城ニ於テ例ノ如ク御謡初有諸士参賀ス

天正九年正月、信長、天神山城攻落し、後詰の信長、尾張
北陸道近き所、所々に陣取り、毎日、京極長門守、義孝、二月
信長一万六千、此人数少く、さぬ川、出張し、二万の人数にて
さぬ川近き、大軍、所々に、無方、付く、足軽、雨の如く、大勢
林、信長、さぬ川、方と、長篠、長篠、小田原、方、うつて
出る、信長、たゞ軍、合、敵、小条、小田原、鳴る、幸と
信長、甲斐、鳴る、矢折れ、あり
天正九正月、須　神君、鳴る、天神山城中、信長、
数年、長篠、亀城、諸、頼、信長、小田原、と、さう、

迫、加勢、小条、小田原、城可、籠、付、早く、引け、甲斐、
道筋、は、小田原、帰、事、有、所、と、信長、城中、籠、
ち、　神君、方、　二月九日
馬揃
禁中、北御門、馬、乗、馬、附、馬、数、百疋、ひつめ、
京、ひと、ゝみ、賀茂、競馬、揃、一さん、かけさせ、
京、ひと、ゝみ、賀茂、競馬、揃、　二月十九日
信長、馬、別、当、長、　二十人、馬、乗、
毎、ゝ、信長、　毛数、馬、京、ゝ、異、

ら国ニ下ル給事

主上厳誡ヲ蒙リ和後ニ公卿院ヲ奉ル事ハ国ヲ
治ムル事ハ先ヲ内ニ防出陣ハ上杉京勝ヲ越中ニ出シ
ハ先ヲ外ニ防ク事ハ先ヲ内ニ防ク

武徳大成

以テ坐ナカラ甲府ニ在テ高天神ヲ援ケスンハ人吾ヲ
以テ怯弱ナリトセント即チ兵ヲ上野ニ出シテ仙ノ城ヲ拔
ク

一日ニ攻テ拔ク毎度対勝ヲ年天正八ニ天神ヲ拔ク速名
ハ甲州ニ中ニ在ル日ク

徳川ヲ攻ル処城中狼狽ハ色ク
対ク[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ

テ帰ル高天神ノ城兵援兵ノ至ラサル支ヲ聞テ粮尽勢屈シ
テ圍ミヲ潰シテ出シト議ス兵カ罷敝テ急ニ出ル支ヲ得ス
我軍是ヲ知テ兵ヲ要害ニ益テ堅ク守レリ大久保忠世カ守
ル所ノ林谷ハ山高ク谷深クシテ險阻殊ニ甚シ前ニハ六笠
懸川諏訪原ノ城塞アリ南ニ大塚横須賀ノ重兵アリ
大神君在シテ備ヘ甚タ嚴シ出ル支有ル遂ニ免ルヘカラス
忠世是ヲ恃シテ絶六士ヲ以テ守ラシム城兵其守リ少ナキ
ヲ見テ三月廿二日ノ夜ノ二更ニ分ツテ一隊ト成テ出ツ岡
部丹後横田甚五郎林谷ヨリ出ツ忠世弟平介ヨメ守兵六士
ト併セテ十九騎ヲ以テ夜ヲ成ラシム平介岡部ヲ撃テ傷ク
本多主水其首ヲ獲タリ忠世敵ノ出ルト聞テ馳テ來シハ敵
既ニ去リヌ石川康通長門守足助鳥原ノ要路ヲ守ル前ニ龍ケ
谷アリ山廻リ路轉シテ守兵ノ多少見ルヘカラス城兵三百
余人突出シトス吾軍備ヲキヒシクシテ是ヲ撃ツ城兵敗シ
走テ龍ケ谷ニ陷ル吾兵未リ撃テ殆ント尽ク殘兵隊ヲ成テ
水野國松カ陣ヲ衝國松本陣ニアリ守兵是ヲ防ク大久保忠
世相並シテ陣ス横ニ撃テ斬獲過半ナリ高天神ノ城兵殲タ
リ首ヲ斬ル支七百三十級也戦撃テ此ヲ録シテ信長ニ呈シ

給フ

翁物語

幸岩忠臣所ノ曰系親ハ幸岩与三　家康公
を別ニ与ヘ大郎ハ城責ノ附従中分ケ中ハ幸岩与三左衛
家康ニ法ヲ世ニ一曲ヲ所ヒ云ヒ云

家康公
ニ城内ニ与ヘ二度ハ小ニ作ヲ付ル時ハ矢留ヲ以テ城内ヨリ原ハ
作ヲ一番ニ作ヲ付ル写義ヲ以テ赤穂城事ヲ義ハ為
ヲ附義ヲ以ヲ敗ヲ者ニ宣ハレ与ヘ二度作ヲ取リ
ニ敗ヲ一番ニ敗ハレ城内ニ者ヲ城際近ニ籠ヲ天
神ニ城ニ栗田ニ者ニ者ニ栗田ヲ展ニ走リ矢

余ハ上ニ徒用セ一トヲ家臣ニ切ル時ハ敵ニ
多ク武者一騎城門ヨリ出ニ三度ハ関東ニ用ヲ大ぼう
ハ紙十帖ヲ板ニ織物ヲ添幸岩与三度ハ引出ル
翌日辰城ニ悪ク討死ヲ右ニ使ハ出ル切ル時ハ織
ニ多ク侍モ城ハ近働出ニ討死セ
者モ首実検ニ中ハ生捕者ヲ見知ス年ニ
祝十六七ヲ為ル落化粧シテ浜孫忠ク髪ヲ結テ
ひたる頭ハ男女ニ名ハ更ニ見知ル多人ル
一　家康公ニ宣ヲ頭ヒ眼ヲ洗ク尼ニ墨

眼にも見えぬ位の白眼斗りなる者にて
女人は殊に面白く黒眼ばかりにて男は頭に
毛一筋せんさくせしに有しかば眼を開き光を見る事
眼ばかりにて人間の男は殊に所存なく後家なるべき
城を落せし若気に有しとぞ沙汰せしと栗田刑部
落せし者也

落穂集

天正九年辛酉春遠州に天神城攻落す尚城に成る任責
取籠候の思召なれども年内未だ二度国に帰り任責被
成候ゆゑ城を落す能き時分なれば兼て方法諸方に沙汰

を仰付られ沙汰に及ばれ候城を取囲み向に陣営
を能取詰め城中夜討夜軍抔とて度々小用にを
被して数日を送られ候へ城中に兵粮沢山有る
又さ一方を手薄に成りて切崩すべき無二の外に無なり若又
尚援兵なくば勝敗生死の分れ我等八幡宮の途中へ
出向て武田勢と切崩さんと思ひ城を孔国に取立
居て指寄る色城中に兵粮所を果して籠城城
なりし辰田府中老臣に指図に成て城を乗
て出て相渡て城を奪ひ

二月廿七日に敵城小谷城つとめ石川長門守ゟ夜討
ゟ谷一切ゟ出張方に取懸り小谷ハ悉ゟ焼成とおゐ居け
事に付ては早速ゟ合戦と成ゟ谷追入悉く討取ゟ事
は城中へ追籠り勝ひ小谷へ浅方に成ゟ谷一同に
攻入ゟ成ゟ城ゟ戦ひ方も城将長政丹波を初め浅井
討死すゝ成信長ゟ加勢ゟ能助野ゟ
三十郎五人ゟ菊城ゟ中小かり成ゟ右五人ゟ
信長へ遣書状ゟ天神義城に成ゟ士首七百余級討死ゟ
書付出ゟ右城ゟ内中へ横田志摩守水谷人数方

大坂頃康ゟ大久保忠世ゟ柵を破り御事ゟ田列ゟ引
退勝敗ゟ前へ出ゟ中けゟハゟ天神に城ゟ
の大軍小元国ゟ上ゟ粮ゟ籠城仕ゟ城中に養
ゟ討死を逐ゟ中ゟ八幡敗ゟ角に成ゟ居
ゟ横田歌に国の中を切崩ゟ神物に成ゟ
勝敗ゟ指ゟ成ゟ命ゟ成ゟ
中ゟ八幡ゟ城ゟ一同小討死ゟ
成ゟ成ゟ横田ゟ八幡ゟ城ゟ
ゟ成ゟ武士ゟ者ゟ死場を避り首尾能退

徳川家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

中言上ある処ハ公自御感涙を流し天正九年浜松御城中ニ而病死す

明良洪範

遠州高天神ノ城攻ノ時二ノ丸ニテ輪乗スル武者　神

君ノ御旗本へ見へタリ　神君先手へ急ニ御下知有ケ

ル ハ唯今城ヨリ一参ニ乗出シテ甲州へ退ク武者可有必ス

不可止開テ可通止メタテセハ味方大勢怪我スヘシト御下

知有ケル取ニ果シテ大手ヨリ横田甚五郎一文字ニ駈テ通

リ抜ケ甲州へ退ク如是時ハ駈足早キ馬ニ乗達者ヲ以テ功

ヲ成ス

家忠日記

今日高天神ノ城ニメ御味方ノ軍勢撃捕処ノ首凡七百三十

余級信長援助ノ部将佐々内藏助成政野々村三十郎是ヲ録

メ安土ニ飯ル

百三十八	鈴木喜三郎	十五	水野國松	十六	石川長門守
十八	本多作左衛門	七ツ	内藤三左衛門	五ツ	大須賀五郎左衛門
六ツ	菅沼次郎右衛門	五ツ	三宅宗右衛門	四十二	酒井左衛門尉
廿一	本多彦四郎	七ツ	戸田三郎右衛門	五ツ	本多庄左衛門

四十　石川伯耆守　十　松平上野介
二十二　本多平八郎　六ッ　植村庄右衛門
六十四　大久保七郎右衛門　四十一　榊原小平太
十九　鳥居彦右衛門　一ッ　松平玄蕃
三ッ　久野三郎九衛門　一ッ　牧野菅八郎
一ッ　岩瀬清介　二ッ　近藤平右衛門
三ッ　鳥居伐左衛門

此内駿河先方精兵ノ首級所謂岡部丹波守三浦右近森川備前守屬石和泉守朝比奈弥六郎近藤與兵衛由井加兵衛由井藤太夫岡部帯刀松尾若狭守名郷源太武藤刑部亟六笠彦三郎神應但馬守安西平右衛門安西八郎兵衛三浦雅樂助

栗田カ従兵信州ノ士

栗田刑部亟栗田彦兵衛及弟二人勝股主税助榔木庄九衛門
山上備後守利根川雅樂
大戸カ従兵大戸丹後守浦野右衛門江戸右馬丞
横田カ従兵土橋五郎兵衛福嶋本目助
与田能登守従兵与田美濃守与田圭九衛門与田武兵衛大子
原川三藏江戸カ助

都合首級七百三十余

廿三日昨夜高天神ノ城陷ル ノ時城中ニ篭ル処ノ兵數百人
討捕ラルヽトイヘ𪜈今日實検ニ及テ城將等ノ首不足アリ
其外撃洩サルヽ城兵ラ近辺ノ山林ニ隠シ居ノ由其聞ヘア
ルニ依テ諸將ニ命メ是ヲ探リ求メシメ王フ下卒等ハ數輩
尋出メ是ヲ撃捕トイヘ𪜈吏士ノ首ハ不得

柏崎物語
二月廿二日夜ニ付城ヲ付ケ出シ申候ハ
ヲ天神ヲ引ケ九八年ニ三年ハ方ヲ攻ケリ

家忠日記
廿四日　大神君高天神ヨリ濱松ノ城ニ御凱旋アリ公

年ヨリ高天神ヲ囲ム諸將等ヲ召メ軍功ヲ褒セラレ各休暇
ヲ賜リ居城ニ皈ル

柏崎物語
二月廿日細川忠興丹後國ヲ給ハリ惣領与一郎ヲ丹ト
ヲ帰ス二人信長ノ命ニ依テ丹後ヲ給ハリ長岡
ヲ二人ニ名字慶長十九年松平ノ称号ヲ許ス二人雖
有年ヲ私一代松平ヲ名字ヲ細川ヲ名ノ字ヲ細川
被候ハ私ヲ上意ニ細川ヲ称号名字ヲ
南ヲ上意ニ名字
二官領ノ職ヲ一色ヲ京大夫我定信長ノ意ニ依テ義孝ヲ

と数度国人細川小順孫子名助四郎小左衛門採り天神攻員分小
信長より〻〻〻
京師は松平左甚左衛門義春中務丞二郎兵衛尉松平新義春
松子小甚左衛門家忠と力ノ奥平久兵衛を攻小沙汰死之附忠
板小屋の家老松井左近将監之渡水ヲ人の使小如ク
引き〻〻
信長若狭浮宮〻〻アハヤ右京亮清水合右衛門父信実武田
八郎義次清水にたて長谷川を為て小月十六日若狭逃見
渡河守昌綱 病死逃見領紀の内粟屋越中守久義上野分
信由ら領紀と清水に武田孫八郎元次小校けらる逃見若狭領之
清水にと逃見〻〻小之月十七日城〻助反 田左衛門佐小〻
秘蔵は馬と逃〻〻ら腐民紀之恵 悔死六十六歳人は切後月
廿日大徳寺右馬頭馬弯を進る大弯生田名を進する使者
初 綱 小沙り相数多ら同月廿日和泉〻内牧野尾ら寺領
城久ら命領紀 信長ら は名ら偽恵に信長小之後攻七せ〻ら後沙〻
引取弱弯を之退〻法師匠岩剛勇操ら之帰り取之仏法入滅ら
天正九年より〻七百四拾七年冨月安土和撲同廿七日能光七尾
の城小〻信長九左衛門ら自生害小為及ん湯井後家ら二宅後後

[illegible]ヲ[illegible]ミ通電ス

六月廿六日中國ヲ発シ二万余ノ人数ヲ指揮シ因幡ノ乱入
無國ヲ[illegible]大浦豊國ヲ一度ニ来ル[illegible]
取来ル[illegible]追出ス豊國入道弾ヲ城出ス取来ル下
出ル中村対馬ヲ[illegible]細工ヲ以八ツ取ル[illegible]
中大将ヲ[illegible]川武部大浦[illegible]今田孫十郎ヲ附
因幡ヲ取ル[illegible]城中ヲ余ス[illegible]秀ヲ
[illegible]ヲ攻ル[illegible]利ル[illegible]ヲ[illegible]川[illegible]ヲ送ル[illegible]中ヲ
[illegible]ヲ[illegible]ル[illegible]ヲ附ル[illegible]数[illegible]田中

豊濃ノ井有馬濃ノ人数大将ヲ[illegible]城中ヲ
[illegible]ル[illegible]ヲ[illegible]城中ヲ攻城ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
数百人

家忠日記

六月大廿八日　大神君濱松ヲ御進發有テ見付ノ駅ニ
陣シ玉フ

七月小一日松平主殿助家忠命ヲ奉テ相良ニ兵ヲ發ス

三日相良ノ取出ヲ修セシメ玉フ

柏崎物語

[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]

七月廿日ニ取ル城ヲ取ル織小坊丸ヲ小法士浮田秀家
出ス御城中ヲ統日本ヲ助ル石田治部ヲ給ヲ引ル城下川
ヲ渡雑賀城中ヲ付ル不出
越中國石黒左近郎朱石黒ヲ右馬ノ介ヲ治右馬ノ味方泉女
ヲ小隠系ル礼ヲ安ル（行惟ヲ命ル信長ヲ付石黒
父子ヲ討ル之浅井ヲ初ル九篭ヲ攻ル落ル
命ル惟朱ヲ助ヲ員
無田ヲ黄金ヲ進ス尚七月信長ル拘数ヲ安ル
地灯燈篭ヲ城ル大ヲ成ヲ寺ル拘（ヒヒさる湖水ヲ福りてをそる）

八月六日奥列會津若名ニ浦ル助ヲ之家朱義弁方ヲ命
使ヲ馬ニ乗逃相也蝋燭ヲ挽月毛ル馬早ヲ成ヲ八先祖伝原
十郎平義連ヲ十八代ル後裔
八月十三日ヲ取ル城中雑賀ヲ小雑賀ヲ利ヲ数万ル加勢ヲ
ヲ信長ヲ丹後ル長岡丹波の 闕 ト
ウヲ小法士ノ内ヲ有ル出馬ル用意ヲ丹ヲ出ヲ有
信長ヲ秀吉ノ馬ニ乗軍ヲ給ル上使ヲ山右近ヲ取表
の成ヲ骨牌上ヲ出精ル馬ヲ乗ル小ヲ秀吉慎ル
今ハ中一ル表之同月十八日ヲ義門伊賀伊勢ヲ濃尾張ニ河

元亨元年國司ノ子野賀ノ三郎（ら）悪く首を切荒木ノ弥
藤三郎（ノ）兵庫ノ第送ル所ノ我ノ云分を不用不届ノ方
しサイカ表ノ小せり合ノ同変を後悔ス野賀ノ三郎
首切ノ子伊賀ノ松ノ殿ノ二七信孝ノ小屋ノ中ノ和尚ノ子野賀ノ
内ノ中ノ夫婦有ノ二七信孝ノ先ノ出合ノ席ノ
ノ事を信雄ノ公ノ第ノ兄弟ノ小ノ命助ノ第源浄院
ノ仕置ノ事ノ毒ノ小ノ源浄院早速
表ノ事ノ出されノ子ノ所ノ子ノ命ノ
伊賀福門院ノ無対ノ法ノ後ノ伊賀（ノ）ノ入ル

伊賀ノ小ノ中ノ甲ノ長野ノ大和ノ筒井順慶ノ方一同ノ乱入ス
國人防ノ城ノ居城ノ（引）迫ノ攻ノ落ノ滝川一族ハトミ
カスノ城ノ攻ノ蒲生ノ山ノ小屋ノ九ノ山ノ攻ノ福門院
ノ中ノ目見ノ如ノ方（ノ）攻入ノ紀伊ノ賀ノ一ツノ城
ミソノ城サナゴノ城攻ノ落ノ小屋ノ信長ノ
ノ中ノ屋ノ安ノ横ノ九月八日ノ義ノ助ノ見ノ代
ノ大ノ小袖ノ九月十日伊賀（下向）ノ中ノ見合
次ノ大和ノ迫ノ寺社ノ焼掛ノ國中ノ数
焼ノ小ノ後ノ演（退）ノ者ノ有

感狀記

伊賀ハ分國ニテ郡主六七人タカヒニ相持チシ相歃ス信長コレヲ攻ルトキハカヲ合セテコレヲ防ク此故ニ久ク信長ノ手ニ入ス或時信長ノ將柘植三郎右衛門三千計ヲ卒テ伊賀ヲ攻ム勸行寺勘助ト云勇士アリワツカニ二三十人ニテ向シカ巖ヲツタヒ木陰ヲクヽリ鉄炮ヲ以テ柘植ヲ馬上ヨリ打落ス郎黨トモ走リヨリ抱キノスル處ヲ又打落ス殘卒ミナ小笹原ニ逃コモリタルヲ火ヲ放テ燒殺セリ信長大ニイカリ大軍ヲオコシミツカラ伊賀ヲ攻ム男女ヒニ撫切ニシ上野ニ城代ヲ置テ守ラセラル此ヨリ三年ノ後分散シタル伊賀ノ士千人ハカリ相カタラヒ不意ニ押寄テ城代ヲ斬テ又伊賀ヲ取カヘス信長瀧川六角二將ニ命シテ伊賀ヲ攻ラル、ニセイサイノ塞ニ百人計ホロノ谷ニ百人計或ハ百五十人或ハ二百人コヽカシコニ潛居セリ二將兵勢盛ナルヲ見テセイサイノ塞ハ退去二將コヽニ一宿シテ明且ホロノ谷ヲ攻レトスホロノ谷ニハ巨石大木ヲ積重テ待設タル處ニ二將山七八分ニ攻登ルトキ巨石ヲ轉シ大木ヲ落シ死人ヲ以テ谷ヲ埋メタリ二將ワツカニ免テセイサイノ塞ニ引取ケルヲ伊賀士相計テ夜打ス塞ヨリ出テ拒ハサト引塞

二入ハ攻ヨセ一夜ニ七度マテ夜討シテ息ヲモ繼セサリケル ニ由テ七度目ニハ遂ニ二將ヲ追落シテセイサイノ塞ヲ取反ス

續闘談

秀吉公伊賀ノ働ヲ附水攻ヲ[illegible]ル[illegible]ル[illegible]ル

信長ゟ國中ゟ注進ゟ者ゟ家来働ゟ者ゟ兵ゟ元奥ゟ
動助ゟ参ゟ山奥ゟ引迯ゟ先ゟ雪ゟ出人迯出ゟ信長ゟ
國人ゟ落数ゟ多ゟ國悦ゟ最限ゟ攻落ゟ之ゟ右迯信長ゟ
城中ゟ落ゟものゟ多ゟ彩ゟ焼焦ゟ成ゟ
ゟ

彩鮮ゟ陣ゟ財馬ゟ捨ゟ紙ゟ九ゟ清液ゟ
呑ゟ

ぞ千ゟ取ゟ色ゟ捨牛馬ゟ捨ゟ秀吉大事ゟ
攻ゟ城中ゟ死人ゟ

波落ゟ城中ゟ大ゟ川或ゟ浦ゟ老女人ゟ切後ゟ
ゟ弱ゟ助ゟ秀吉ゟ家老ゟ中村孫ゟ切後
ゟ大将ゟ及ゟ迯ゟ押迯ゟ作ゟ
助ゟ國ゟ三人ゟ切後ゟ秀吉ゟ信長ゟ
同ゟ三人ゟ切後ゟ酒者ゟ送ゟ三人ゟ
ゟ城中ゟ面ゟ伸三人ゟ死ゟ者ゟ助ゟ
ゟ浦尾茂助一柳一助検使ゟ川或ゟ浦
ゟ中村財馬ゟ右三人ゟ切後城中ゟ出ゟ者ゟ粥ゟ
ゟ秀吉ゟ

[illegible]者ハ[illegible]ニ配セ同出ニ[illegible]の城
[illegible]ヲ信長[illegible]ニ入戦不[illegible]ト[illegible]事ハ
國境ヲ尚[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ヨリ同國
クロヘ[illegible]馬二疋十九疋[illegible]ト進ス[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]
長沢[illegible]ハ関[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ヨリ[illegible]ニ[illegible]
十二月八日[illegible]ヲ[illegible]ハ[illegible]信長[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ト[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ明日[illegible]ハ[illegible]ト[illegible]
[illegible]日[illegible]ハ[illegible]國久[illegible]ハ[illegible]百[illegible]馬二十疋播州

枚原紙二百束播州皮弐百枚[illegible]ハ枚播州[illegible]ハ焼物
[illegible]物二[illegible]ハ[illegible]信長[illegible]ヨリ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

十七日牧野ノ城警衛西郷孫九郎家負ニ代テ松平主殿助是
ヲ勤ム
十八日信長兵ヲ駿甲ニ出サンタメ西尾小左衛門尉ヲ遣シ
粮ヲ東條ニ入ル
柏崎物語
福松丸ハ東條城ヲ進松平周防守ハ伊勢ノ福松丸後
ノ野ヲ称シ
家忠日記
此月奥平九八郎（干時十五歳 奥平信昌嫡）大神君ノ御前ニメ元服ス
御諱ノ字ヲ拝領メ家昌ト号ス御太刀（守家）ヲ家昌ニ賜ル此年
大神君ノ御妹ヲ以テ松平玄蕃頭家清ニ嫁セシメ玉フ此年
大久保五郎左衛門尉忠勝卒去（八十三歳）今年渡辺弥之介助光ヲ
足軽頭ニナサシメ玉フ
續閑談
[illegible]
今[illegible]
[illegible]代[illegible]
及[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

りうを以て小安祥城を攻させ給ふ御義の一番にとして
戦死しぬれば忠俊彼武勇を感し給ひ本姓宇津宮を改大久保と
称せしと云へり世人今信門家の多くは是より始まるとも
云へり戦功を励せしと云へり世忠俊入道浄玄天正九年小牟にて

内閣印書

武徳成業巻之十四終

国立公文書館
National Archives of Japan